

医学研究実施のお知らせ

埼玉医科大学病院 IRB（臨床研究における倫理審査を行う委員会）の審査を受け、以下の研究を実施しております。研究の対象となる方（または代理人の方）で、この研究計画について詳しくお知りになりたい場合、又はこの研究に試料や情報を利用することをご了承いただけない場合は、下記【問い合わせ先】へご照会ください。二次利用のご承諾をいただいた3か月以内にご連絡をお願い致します。この期日を超過した場合、あなたの情報を削除できない可能性が発生します。あらかじめご了承下さい。

【研究課題名】

アレルギー疾患における抗原特異的 IgG および IgG4 抗体の臨床的意義の解明

【研究の概要】

研究の目的

アレルギー疾患は、抗原に対する IgE 抗体の獲得が引き金となって発症することが知られています。しかし、抗原特異的 IgE 抗体はその抗原に「感作」されていることを示していますが、「感作」と症状誘発は必ずしも一致しません。また、抗原特異的 IgG や IgG4 については、免疫療法の際に IgE と抗原との結合を阻止する役割が指摘されていますが、十分にはわかっていません。そこで、本研究は、アレルギー疾患における抗原特異的 IgE、IgG、IgG4 抗体価を測定し、それぞれの役割を解明することを目的としています。

研究代表者

所属機関名：埼玉医科大学病院

研究代表者名：小児科 教授 板澤寿子

研究期間 承認日 ~ 2027年3月31日まで、研究の実施を予定しています。

対象となる方等

対象となる患者さん：アレルギー疾患に関する当院での以下の先行研究において、試料と情報の二次利用の承諾を得ている患者さん。

病院 IRB 申請番号：

17090「食物アレルギー児に対する食物経口負荷試験の意義と症状発現予知因子の解明」

18093「食物アレルギー児に対する食物経口負荷試験の意義と症状発現予知因子の解明(外来版)」

20084「アレルギー性鼻炎の発症機序の解明」

20132「食物依存性運動誘発アナフィラキシー児に対する運動負荷試験の意義と原因食物についての考察」

病 2021-121「乳幼児におけるアレルギー性鼻炎の病態の解明」

対象となる患者さんの数：100例

研究に利用する試料、情報等

試料・情報：当院での先行研究にて二次利用の承諾を得ている患者さんの試料(血液、鼻腔内洗浄液(または鼻汁吸引液))と情報。

HP 掲載用（多施設研究）

他の機関へ試料や情報等を提供する場合

試料・情報を提供する方法：先行研究の際に採取した試料を、研究特有の ID を付与し個人が識別できない状態にした後にシーメンスヘルスケア・ダイアグノスティクス株式会社に郵送され、抗原特異的 IgE、IgG、IgG4 の測定が行われます。情報は提供されません。

試料・情報の提供先：シーメンスヘルスケア・ダイアグノスティクス株式会社

費用に関する事項

1) 研究の資金源

この研究は文部科学省科学研究費補助金、及び当院小児科研究費（基本学科研究費）により実施します。

2) 研究に係る利益相反について

この研究の一部（検体の抗体価測定）は、シーメンスヘルスケア・ダイアグノスティクス株式会社の研究費にて実施されますが、研究者の利益相反は埼玉医科大学病院 COI 管理委員会に申告するなどして適正に管理されています。

【問い合わせ先（対応時間：平日 9:00 ~ 17:00）】

埼玉医科大学病院 小児科 研究責任者：板澤 寿子 電話：049-276-1218

利用する情報等からは、氏名、住所、電話番号など、個人を特定できる情報は削除致します。

研究成果を学会や論文で発表する際も個人が特定できる情報は利用致しません。